相談支援部だより⑤

高等支援学校桃花台学園
令和8年11月発行

進路決定に向けたレディネス

レディネスとは「学びや新しい環境に向かうための土台となる力」のことです。

進路選択では、学力だけではなく、生活習慣やコミュニケーションの力、自分で考えて行動する力など、さまざまな面での準備が求められます。特に桃花台学園では、卒業後の就労や社会参加を見据えた学びが行われるため、学校生活を主体的に送るための基礎的な力が大切になります。

進路を考える際には、「今できていること」と「これから身に付けていきたいこと」を確認しながら、生徒に合った進路について一緒に考えていくことが重要です。

そこで今回は、進路決定に向け本校で学習するためのレディネスについて紹介します。

生活面のレディネス（自立した生活を送るための基礎）

- ☐ 毎日決まった時間に起き、学校へ通うことができる
- ☐ 身だしなみや衣服の調整を自分で行える
- ☐ 体調の変化に気付き、周囲に伝えることができる
- ☐ 学校生活を送るための基礎体力がある
- ☐ 安全に登下校する力を身に付けている



行動面のレディネス（人と関わり、社会のルールを守る力）

- ☐ 自分からあいさつや返事ができる
- ☐ 話を最後まで聞き、指示に沿って行動できる
- ☐ 学校や社会のルールを守り集団活動に参加できる
- ☐ うまくいかなくても気持ちや行動を調整しあきらめずに挑戦しようとする
- ☐ 困ったときや分からないときに相談することができる

学習面（授業や作業の前提知識と技能）

- ☐ 読み書き、簡単な文章の理解、基礎計算、時間・時計の読み方、お金の計算、長さや重さの測定など、日常生活や作業に直結する基礎的な学力
- ☐ 学習や作業に集中して取り組むことができる
- ☐ 自分の気持ちや考えを話したり書いたりして伝えられる
- ☐ 「これを学びたい」「将来働きたい」という目的意識をもっている

これらの項目は、入学時点で完璧である必要はありません。桃花台学園での学びを積み重ね、将来の自立や社会参加につなげていくための大切なレディネス（準備性）として捉え、生徒の成長に合わせて少しずつ身に付けていくことが大切です。

担当：相談支援部・小野寺、渡辺